

令和6年6月24日

佐賀県県民協働課長 様

住 所 佐賀市唐人二丁目5番25号TOJINシェアオフィス2号館
団 体 名 一般社団法人さが・こども未来応援プロジェクト実行委員会
代表者職・氏名 代表理事 山田健一郎
電 話 番 号 090-9482-4434

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による
寄附金活用実績報告書

令和5年度において、当団体に交付された佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して別紙のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱第21条第1項の規定により提出します。

年度 佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による寄附金活用実績報告書

- 1 団 体 名 : 一般社団法人さが・こども未来応援プロジェクト実行委員会□
- 2 事業実施期間 : 令和5年6月1日 から 令和6年3月31日
- 3 事業の背景 (※事業計画書から転記)

■事業の実施により実現したい佐賀県の地域像

こどもが歩いていける場所に必要と考えるこどもの居場所（こども食堂）が、すでに地域に存在する場所である宅老所や学童などがその機能を補完することで、今以上に県内のこどもが安心して生活できる環境を構築することを目指す。

4 事業の成果

①県民の便益にどのようにつながったのか

こどもの豊かな心の育成という点も大切だが、地域の多世代との交流や学習などは必要性が高く、今回の調査事業等により、高齢者施設をはじめとした、より多くの方々にこどもの居場所の活動に興味関心を持っていただくことで、子どもの心の育成をはじめ、相互に支え合う地域作りに寄与するための準備ができたのではないかと思います。

②佐賀から広がった社会像（該当する活動のみ）

今回の調査事業では、佐賀県における宅老所等が学童などすでに存在するこどもの居場所（こども食堂）の機能補完につながる可能性を確認できた。その調査結果等を全国こども食堂支援センターむすびえと共有し、その可能性を全国へと広げられるよう議論を行った。

- 5 寄附金活用事業実績 : (別記1)
- 6 次年度繰越額活用見込み : (別記2)
- 7 寄附金活用額 : (別記3)

(別記1) 寄附金活用事業実績

○寄附金を活用して行った事業 (GCFを行った場合は、GCF名とその内容を記載)

事業名	具体的な事業内容 ①目的②対象者③実施内容	①実施日時 ②実施場所	事業費の 支出金額 [単位：円]	うち寄附金 活用額 [単位：円]
調査事業	①県内の宅老所等の施設における事実をつかむ ②宅老所等 ③県内全ての宅老所へのアンケート及び訪問調査 ・宅老所や学童などすでにある施設におけることも支援の可能性調査 ・施設へのアンケート調査 ・施設への相対調査	①8-10月 ②県内	3,525,000	3,525,000
体系化事業	①調査結果をふまえた構造的課題と解決策を整理すること ②宅老所等 ③ ・調査事業を通じた実施体系分析 ・県内の施設へ導入するための整理	①8-11月 ②県内	1,675,000	1,675,000
計			5,200,000	5,200,000

(別記3) 寄附金活用額

【収入】佐賀県ふるさと寄附金収入額 … ① (=A+B)		9,348,000
(内訳)	本年度の佐賀県ふるさと寄附金収入額 … A	9,348,000
	本年度交付を受けた佐賀県ふるさと寄附金分	9,348,000
	前年度控除額(県事務経費)還付分	0
	前年度収入済の佐賀県ふるさと寄附金繰越額 … B	

【支出】佐賀県ふるさと寄附金活用額… ② (=a+b)		5,200,000
(内訳)	事業に活用した寄附金額 … a	5,200,000
	ふるさと納税の募集に要した費用の額 … b	0
	返礼品等の調達に係る費用	0
	返礼品等の送付に係る費用	0
	広報に係る費用	0
	事務に係る費用	0

佐賀県ふるさと寄附金の次年度繰越額 … ③ (=①-②)	4,148,000
-------------------------------------	------------------

■直近の収支報告書掲載箇所(ホームページURL等)

<https://saga-codomo.org/about-us/>